



Press Release

2017年11月30日

報道関係各位

日本イーライリリー株式会社
鳥居薬品株式会社

乾癬治療薬「トルツ[®]皮下注 80mg オートインジェクター」 および「トルツ[®]皮下注 80mg シリンジ」 在宅自己注射が可能に

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下「日本イーライリリー」と鳥居薬品株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高木 正一郎、以下「鳥居薬品」)は、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症を適応症とするヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤「トルツ[®]皮下注80mgオートインジェクター」および「トルツ[®]皮下注80mgシリンジ」(一般名:イクセキズマブ(遺伝子組換え)、以下「トルツ」)が本日、厚生労働省の告示により、在宅自己注射指導管理料の対象となりましたことをお知らせします。なお、今般の告示に伴い、12月1日より患者さんによる在宅での自己注射が可能となります。

トルツは、2016年11月に発売された乾癬治療薬で、導入投与期間にあたる投与12週までは2週間隔、以降維持投与期間においては4週間隔での皮下投与が必要な生物学的製剤です。これまで患者さんは、生物学的製剤の処方を受けられる承認施設に通院の上、医師による投与が必要とされていました。

昨年両社で実施した調査^{*}では、生物学的製剤承認施設に通院する中等症・重症の患者さんのほうが、非承認施設に通院する中等症・重症の患者さんと比較して治療満足度は高い(59%:21%)ものの、通院時間に対しては不満度が高く(41%:22%)、通院時間がより長くかかっていた(30分以上は59%:28%、1時間以上は22%:5%)ことが判明しています。

この度、在宅自己注射が可能になることで患者さんの治療に関する負担の軽減に寄与すると考えられます。

※出典:2016年10月25日発表プレスリリース「尋常性乾癬患者を取り巻く医療環境に関する中等症・重症患者と治療医の意識調査結果を発表」

今回の告示に際し、日本イーライリリーの筋骨格事業本部長 兼 自己免疫事業本部長、バレット マドリガルは、次のように述べています。「トルツの在宅自己注射が可能となり、今後はより一層多くの患者さんにとってより良い治療選択肢を提供することができ、QOL(生活の質)の向上や、治療負担の軽減に貢献できると期待しています。トルツのデバイスは、患者さんのニーズを第一に考え、安全性と使い勝手の良い設計を追求しています。なかでもトルツ オートインジェクターは、乾癬治療薬としては国内初となるオートインジェクターで、先月にはグッドデザイン賞を受賞するなど、自己注射デバイスとして患者さんのための設計が高く評価されています。弊社は今後も、患者さん一人ひとりが最適な治療結果を得られるよう、革新的な医薬品の提供に注力してまいります。」

また、鳥居薬品の常務取締役 医薬営業グループ担当の田村 明彦は以下のように述べています。「トルツの販売を開始して以来、乾癬治療における新たな価値と選択肢を提供してまいりました。今般、患者さんが在宅で治療することが可能となり、患者さんのライフスタイルにより合った治療の選択肢が広がり、QOL向上により一層寄与出来ることを期待しています。今後も皮膚疾患領域の医療へ、引き続き貢献してまいります。」

以上

トルツ®(イキセキズマブ)について

トルツ(イキセキズマブ)は、サイトカインであるインターロイキン 17A(IL-17A)に特異的に結合し、IL-17 受容体との相互作用を阻止するIgG4 モノクローナル抗体です。IL-17A は自然発生するサイトカインで、通常の炎症及び免疫反応に関与します。トルツは炎症性サイトカイン及びケモカインの活性を抑制します。

トルツ®皮下注 80mg オートインジェクターについて

トルツ皮下注80mgオートインジェクターは、注射針と1回分の薬液をあらかじめ充填した、1回使いきりの注射剤です。特殊素材の採用や、軽く回すだけで取り外せるキャップに加え、横に置いても転がり落ちない三角形の底面、注射部位に対して幅広に取った皮膚接着面(底面)、患者さんから針を見えにくくしたデザイン、注射開始と完了のタイミングを知らせる2回のクリック音など、注射の安全性や簡便性を向上するだけでなく、注射時の患者さんの不安感の軽減に寄与しています。

中等症から重症の尋常性乾癬について

乾癬は、皮膚に症状が現れる慢性の自己免疫疾患です¹。これは、免疫システムが皮膚細胞の成長サイクルを加速させるよう間違ったシグナルを送ることによって発症します。乾癬は全世界で約1億2,500万人が罹患しており、その約20%が中等症から重症の尋常性乾癬です^{1,2}。乾癬は体のどの部分にも発症する可能性があり、糖尿病や心疾患など、その他の重篤な疾患と関連します¹。乾癬で最もよく見られるのは、尋常性乾癬で、銀白色の鱗屑をともなった境界明瞭な盛り上がった紅斑が現れます。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

鳥居薬品株式会社について

鳥居薬品は、「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」ことを企業ミッションとし、「腎・透析領域」、「HIV 感染症領域」、「アレルギー領域」、「皮膚疾患領域」を重点領域と位置付けております。

JT(日本たばこ産業株式会社)グループの一員であり、新規化合物の研究開発機能はJTに集中し、製造・販売の各機能は鳥居薬品に統合するという機能分担によりJTと連携しています。また、導入活動についても独自の活動に加え、JT と連携することにより、優れた医薬品の導入を進めています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.torii.co.jp/>

¹ Psoriasis media kit. National Psoriasis Foundation website.

<https://www.psoriasis.org/sites/default/files/for-media/MediaKit.pdf>. Accessed March 1, 2017.

² Psoriasis. American Academy of Dermatology website. <https://www.aad.org/media-resources/stats-and-facts/conditions/psoriasis>. Accessed March 1, 2017.